

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日本国内の景気は、海外経済の緩やかな成長を背景に生産や輸出が増加基調となり、大企業を中心に企業収益が改善しました。それに伴い企業の設備投資も増加傾向にあります。

また、雇用・所得環境の改善が続くなかで個人消費についても持ち直しの動きとなるなど、わが国経済は全体として緩やかな回復基調が続いています。

しかしながら、中国経済の減速の影響の広がり、米中の貿易摩擦、英国のEU離脱問題など世界経済の先行きには、不透明感が増しています。

また、地域経済の担い手である中小企業や小規模事業者においては、慢性的な人手不足や後継者問題が更に深刻化しており、本年10月に予定されている消費税率の引き上げの影響など、多くの経営課題に直面しています。

そうした中、当金庫の平成31年3月末の預金残高は7,306億円、貸出金残高は3,364億円となり、当期純利益は、お蔭さまをもちまして1,622百万円を計上することができました。

また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.41%と十分な水準にあります。

決算の概況を次ページ以降に分かりやすくグラフを用いてまとめてみましたので、ご一読いただければ幸甚でございます。

〈にっしん〉はこれからも、「お客さま第一主義」を旨とし、地域経済がどのような環境下であろうとも、地域住民や中小企業のライフステージに応じて発生するさまざまな課題の解決に向けてきめ細やかな支援に努め、的確で円滑な資金供給を通じて地域社会の持続的発展に貢献できるよう一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年5月

ごあいさつ

平素は日新信用金庫に対し格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

日本国内の景気は、海外経済の緩やかな成長を背景に生産や輸出が増加基調となり、大企業を中心に企業収益が改善しました。それに伴い企業の設備投資も増加傾向にあります。

また、雇用・所得環境の改善が続くなかで個人消費についても持ち直しの動きとなるなど、わが国経済は全体として緩やかな回復基調が続いています。

しかしながら、中国経済の減速の影響の広がり、米中の貿易摩擦、英国のEU離脱問題など世界経済の先行きには、不透明感が増しています。

また、地域経済の担い手である中小企業や小規模事業者においては、慢性的な人手不足や後継者問題が更に深刻化しており、本年10月に予定されている消費税率の引き上げの影響など、多くの経営課題に直面しています。

そうした中、当金庫の平成31年3月末の預金残高は7,306億円、貸出金残高は3,364億円となり、当期純利益は、お蔭さまをもちまして1,622百万円を計上することができました。

また、経営の健全性を示す自己資本比率は10.36%と十分な水準にあります。

決算の概況を次ページ以降に分かりやすくグラフを用いてまとめてみましたので、ご一読いただければ幸甚でございます。

〈にっしん〉はこれからも、「お客さま第一主義」を旨とし、地域経済がどのような環境下であろうとも、地域住民や中小企業のライフステージに応じて発生するさまざまな課題の解決に向けてきめ細やかな支援に努め、的確で円滑な資金供給を通じて地域社会の持続的発展に貢献できるよう一生懸命に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年5月

お詫び:自己資本比率に計算相違がありましたので一部訂正させていただいております。